

資源回収インセンティブ制度 説明資料

一般社団法人日本自動車リサイクル機構

2025年6月17日

本日のご報告内容

| 番号 | 概要 |
|----|--|
| 1 | 資源回収インセンティブ制度概要 1-1.制度を取り巻く環境 1-2.制度の仕組み 1-3.インセンティブ料金の算出方法 1-4.資源回収インセンティブ制度対象メーカー |
| 2 | 資源回収インセンティブ制度参加前準備 2-1.コンソーシアムの形成 2-2.各事業者の役割 2-3.ART・THチームへの申請 |
| 3 | 資源回収インセンティブ参加後作業・管理 3-1.作業・管理内容 3-2.解体業者 3-3.回収部品引取業者 |
| 4 | コンソーシアム形成のための回収・再生・管理会社候補 |
| 5 | 資源回収インセンティブ制度のためのサポート 5-1.設備導入補助金 5-2.破砕機導入の試算事例 5-3.部品回収コストの試算事例（2018年J-FAR実証事業） 5-4.資源回収インセンティブ制度のためのJAERAのサポート |

1-1.制度を取り巻く環境

- （一社）日本自動車工業会（以下JAMA）では、欧州におけるELV指令の改正を視野に入れて、再生プラスチックの利用拡大を進めることを発表。2030年頃までに使用済自動車からのプラスチック部品の回収の必要性が高まると考えられる。

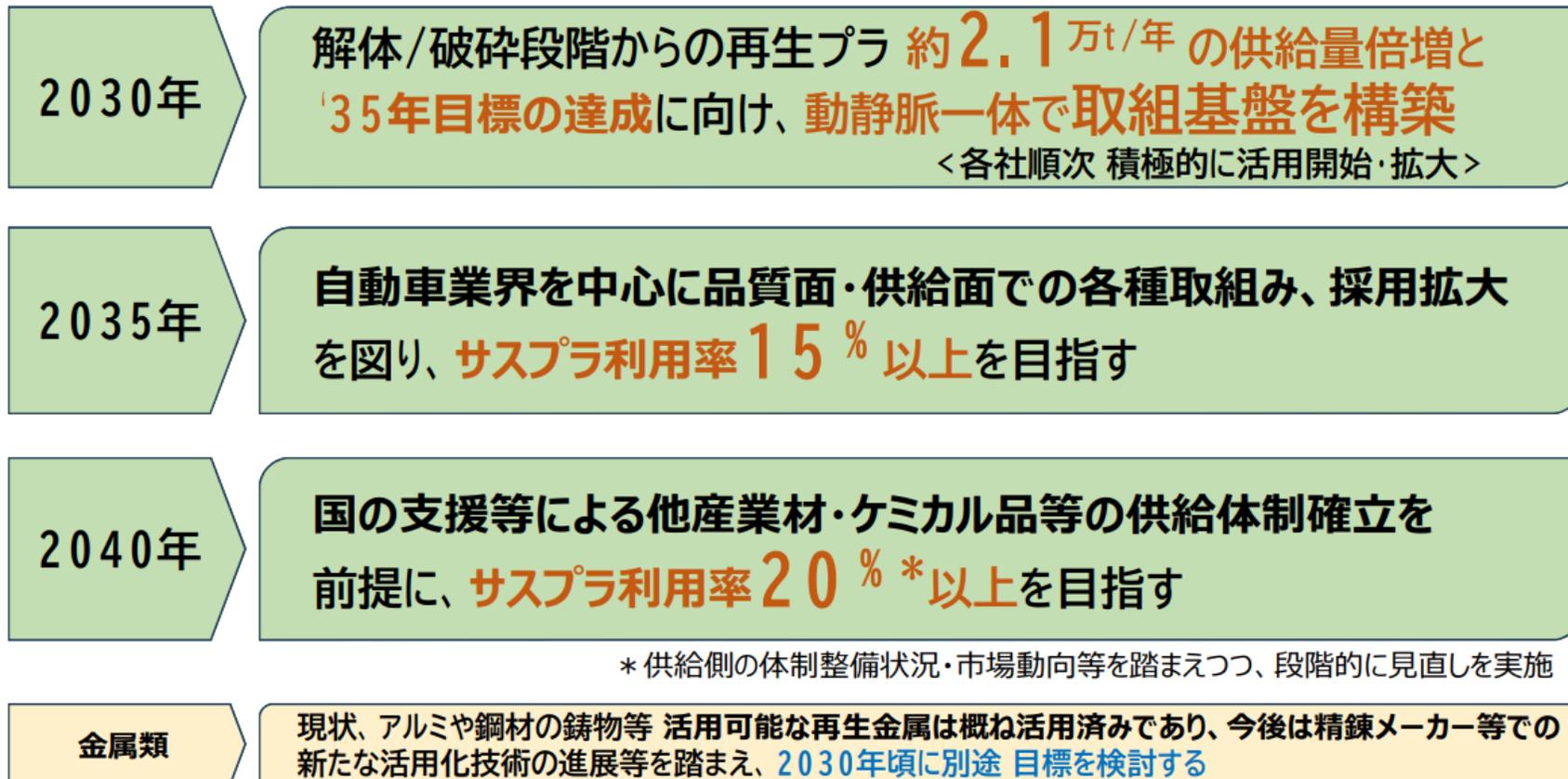


図.JAMAの再生プラスチック利用目標値

1-2.制度の仕組み

- 資源回収インセンティブ料金付与スキームでは、仮に解体業者がプラスチック部品を1台から20kg回収し、再生材の素材産業に引渡した場合、処理すべきだったASRが20kg削減されたことになり、その処理料金が解体業者に資源回収インセンティブ料金として支払われる。

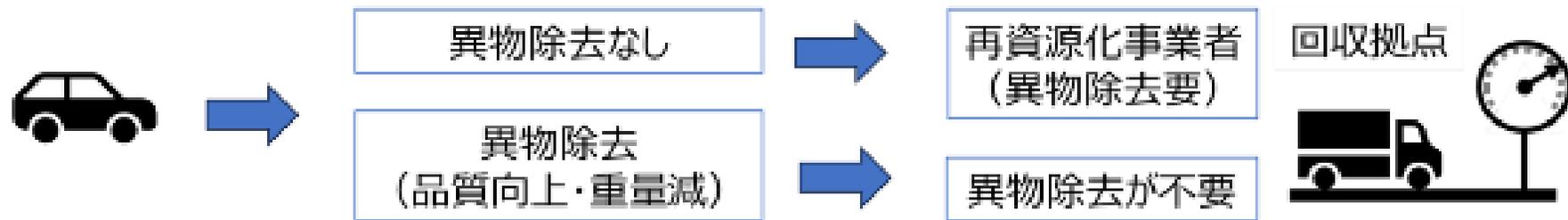


出典：産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会自動車リサイクルWG 中央環境審議会循環型社会部会自動車リサイクル専門委員会 第57回合同会議

図.資源回収インセンティブ制度概要

1-3. インセンティブ料金の算出方法

- 資源回収インセンティブ制度によるASR減量の計算は、JARS操作画面に表示されるバンパー（前・後）および内装の重量をもとに算定されます。インセンティブ料金の算出については各チームの方式に従います。



② 部品回収報告 ※登録内容イメージであり、実際の登録画面とは異なる。

1. チームを選択 THチーム or ARTチーム

2. 引取報告日を選択し、回収部品の登録を行う車台を選択、絞り込み

2024年 6月 1日～ 2024年 6月 30日

3. 対象車台の一部から回収した部品にチェックを入力

| | 引取報告日 | 車台番号 | 回収部品 | | | | 回収の重 (kg) | 合計重量 (kg) | | |
|-------------------------------------|-----------|----------|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|------------|-------------------------------------|-----------|--------------------------|--------|
| | | | フロントバンパー (20kg) | リアバンパー (20kg) | 内装 (10kg) | その他 (10kg) | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2024/5/20 | AA-88... | <input checked="" type="checkbox"/> | 4kg | <input checked="" type="checkbox"/> | 2kg | <input checked="" type="checkbox"/> | 8kg | <input type="checkbox"/> | 14.0kg |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2024/5/20 | AB-88... | <input checked="" type="checkbox"/> | 3kg | <input type="checkbox"/> | 3kg | <input checked="" type="checkbox"/> | 7kg | <input type="checkbox"/> | 10.0kg |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2024/5/20 | AC-88... | <input checked="" type="checkbox"/> | 5kg | <input checked="" type="checkbox"/> | 4kg | <input checked="" type="checkbox"/> | 8kg | <input type="checkbox"/> | 17.0kg |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2024/5/20 | AD-88... | <input checked="" type="checkbox"/> | 5kg | <input checked="" type="checkbox"/> | 3kg | <input type="checkbox"/> | 5kg | <input type="checkbox"/> | 8.0kg |

※チーム間で対象車台について回収の部品の種類が異なる場合があります。
メインのチームに所属している幹事事業者は、全ての引取車台について「部品回収状況」をJARS画面に必ず登録する必要があります。

コンソーシアムの受入れ品質基準にもとづき異物除去等の処理が行われたプラスチック資源価格は、コンソーシアム事業者間で決定されます

JARS画面に表示される部品の紐付け重量は適宜補正されます

図. 資源回収インセンティブ料金の算出方法

1-4.資源回収インセンティブ制度対象メーカー

- 本制度で扱われる資源は、自動車リサイクル法の使用済自動車から回収された有価物（PP及びガラス）に限られます。資源回収インセンティブ制度の対象となる自動車メーカーは以下18社です。

表.資源回収インセンティブ制度の対象となる自動車メーカー

| ART（11社） | TH（7社） |
|-------------------|-------------------|
| いすゞ | ダイハツ |
| スズキ | トヨタ |
| 日産 | 日野 |
| マツダ | ホンダ |
| 三菱 | BMW |
| 三菱ふそう | フォルクスワーゲングループジャパン |
| SUBARU | Stellantisジャパン |
| UDトラック | |
| ジャガー・ランドローバー・ジャパン | |
| ボルボ・カー・ジャパン | |
| メルセデス・ベンツ日本 | |

2-1.コンソーシアムの形成

- 本制度参加には、使用済自動車から回収したプラスチックの再資源化が可能なコンソーシアムの構築が必要です。コンソーシアムは、解体業者、回収部品引取業者、原材料メーカーおよび必要に応じ商社などの管理会社により構成されます。

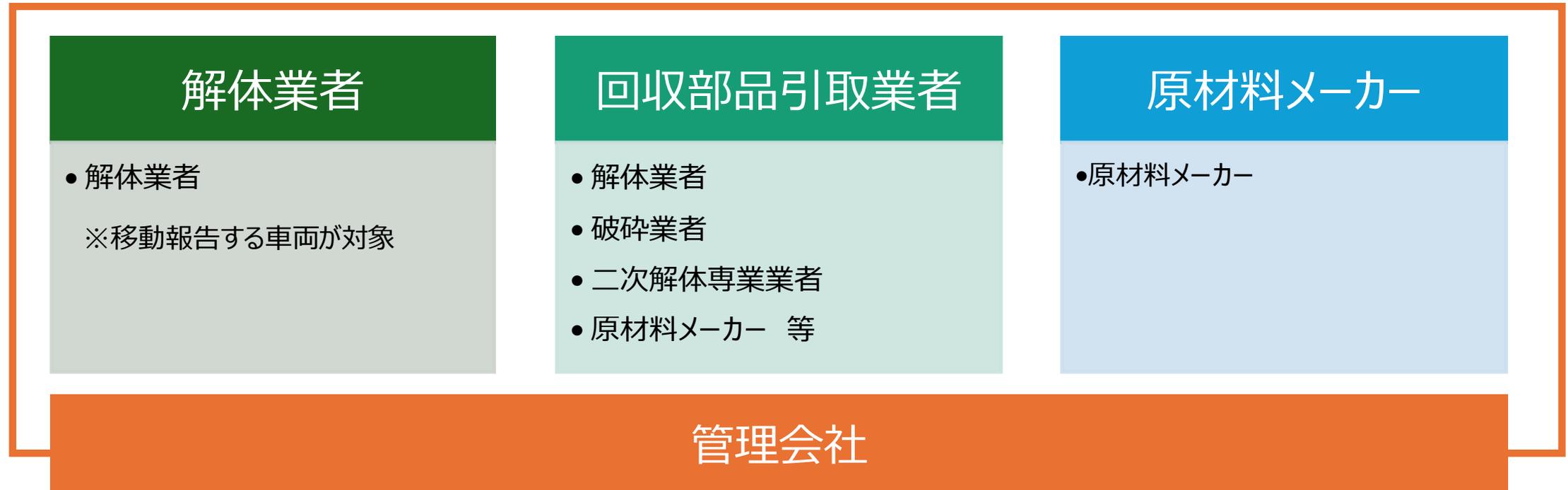


図.コンソーシアム形成イメージ

2-2. 各事業者の役割

- 解体業者、回収部品引取業者、原材料メーカーの役割を以下に示しています。なお事業者の作業内容詳細はP24で後述します。



図. 各事業者の役割

2-2-1.解体業者

- 解体業者は、使用済自動車の解体作業を行う際に、資源回収インセンティブ制度対象メーカーの車台から対象部品の回収を行い、その回収部品情報や送付情報をJARSに登録します。その回収部品を回収部品引取業者へ引渡します。
- 回収部品の異物除去度合い、回収部品引取業者への引渡形状などは、コンソーシアムを形成する回収部品引取業者、原材料メーカーの基準に基づきます。
- 部品重量は、回収部品引取業者が計測するため、解体業者での計測は不要ですが、重量計測の妥当性についてはコンソーシアム内で整合をしてください。

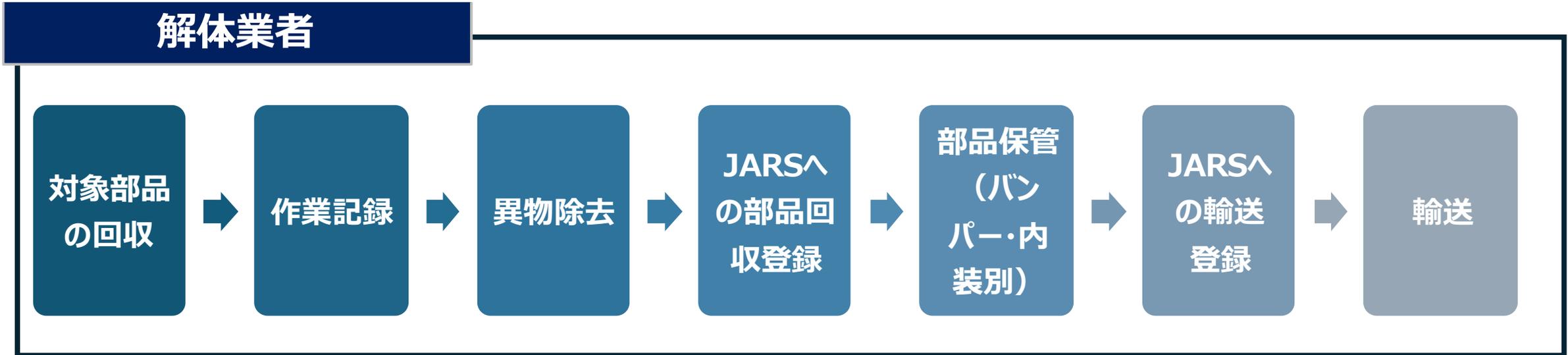


図.解体業者の作業内容

2-2-2.回収部品引取業者

- 回収部品引取業者は、解体業者から引き取った回収部品が、使用済自動車由来の回収部品であるか、原材料メーカーの受け入れ品質に合致しているか確認し、重量を解体業者毎にバンパー・内装別に重量計測します。またその計測した重量をJARSに登録します。
- 回収部品の粉碎・選別などを実施いただき（解体業者毎に行う必要はなく、重量計測以後は一括で実施）、原材料メーカーへ粉碎品を輸送いただきます。JARSへの引渡事業者報告を行います。

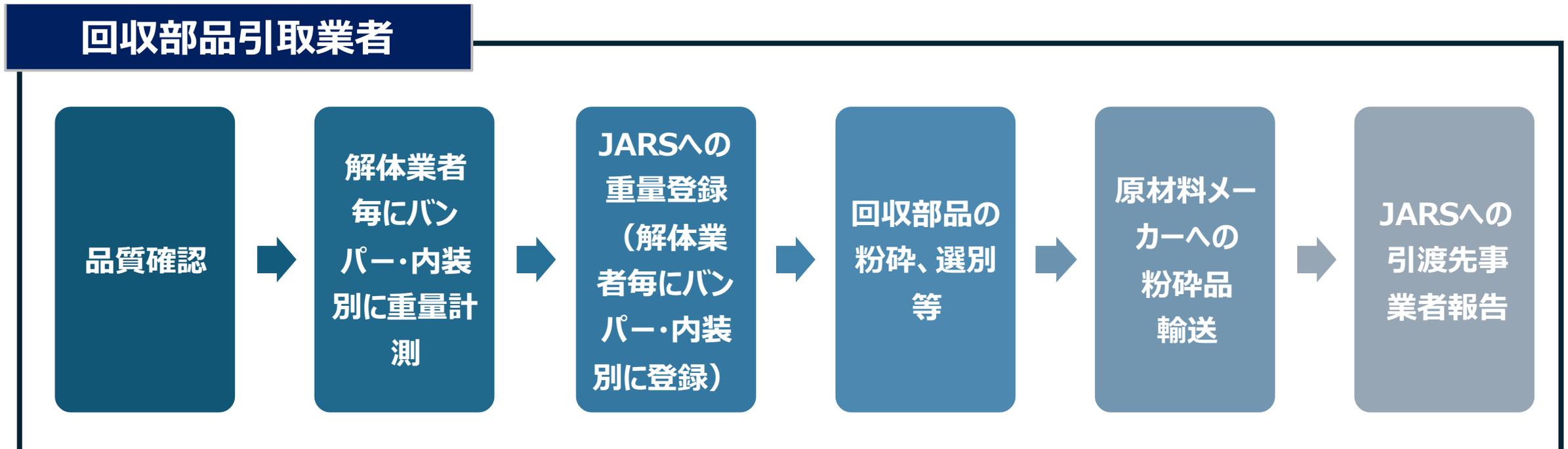


図.回収部品引取業者の作業内容

2-2-3.原材料メーカー

- 原材料メーカーは、回収部品引取業者から送付されてきた回収部品から再生材を製造します。引き取った資源から製造した原材料に関する情報を管理会社の求めに応じて報告を行います。



図.原材料メーカーの作業内容

2-2-4.管理会社

- 管理会社は解体業者、回収部品引取業者、原材料メーカーが行う部品の回収～再生材製造の一連の工程を適切に実施しているか管理する役割を担います。必要に応じて、管理状況などをART及びTHチームに報告する必要があります。

管理会社

解体業者、回収部品引取業者、原材料メーカーの管理



ART・THチームへの報告

図.管理会社の作業内容

2-3.ART・THチームへの申請

- 資源回収インセンティブ制度参加にはASR再資源化チームの応募要領に沿った資源回収インセンティブ制度取得に必要な設備及び管理要件を満たすコンソーシアムを構築し応募、審査、契約が必要となります。また適宜、監査を受けることが必要です。



図. 資源回収インセンティブ契約開始までの流れ

2-3-1. 審査申込書

申込書_ver.1

自動車破砕残さリサイクル促進チーム（ART）
豊通リサイクル株式会社（TH） 御中

資源回収インセンティブ制度_審査申込書

当社はART殿、TH殿（以下両チーム）に対し、資源回収インセンティブ制度参画の審査を申し込みます。当該申込みに係る契約条件は、別添の契約条項に従うものとします。

<参画時の留意事項>

- (1) 回収する資源は、国内での再資源化（パレット化・カレット化）を前提としていること。
※運用開始後は販売実績の開示が必要
- (2) 解体自動車から資源回収を行う事業者は、自動車リサイクル法上の解体業・破砕業の許可を取得していること。
- (3) 回収する資源、回収方法について具体的な手法が確立していること。
- (4) 資源を回収した車台について記録の保管を適切に実施するとともに、自動車リサイクルシステムの回収報告を適切に実施すること。
- (5) 引取工程担当者は、受入検収を実施し、その重量を自動車リサイクルシステムへ登録すること。
- (6) コンソーシアム構成各社間でコンソーシアム締結の合意形成がなされており、運用開始までにコンソーシアム基本契約が締結されること。
- (7) 管理会社は、両チームの要請に基づき必要な情報（売却伝票、実績報告等）を速やかに報告できる体制を構築すること。
- (8) 管理会社は、コンソーシアムの適正な運営がなされるよう管理監督すること。
- (9) 管理会社は、コンソーシアム構成者への費用支払が契約に基づき行われるよう、管理監督すること。
- (10) コンソーシアム構成各社は、両チームまたは両チームが委託した者が行う業務の遂行状況等の確認及び立入調査等を受入れること。
- (11) 自己及び自己の役員並びにコンソーシアム構成各社が、暴力団、暴力団員、またはこれらに準ずる者及びこれらの構成でなくなった時から5年を経過しない者でないこと。
- (12) 両チームから審査結果の判定理由を開示しないことを了承すること。
- (13) 原材料メーカーは対象品目の事業実績があること。
- (14) 全てのコンソーシアム構成者が本書に記載の留意事項を理解していること。

2-3-1. 審査申込書

- 審査申込時には様式1～6の書類に加え、現場で車台番号に基づき部品回収を記録するための作業記録、素材の販売実績を提示する必要があります。そのほか、解体業者における部品回収によるASR減量は計算値となるため、そのためのみなし重量テーブル設定表を提出する必要があります。

様式0_ver.2

■ 審査申込みから運用開始までに必要な書類

| 運用開始までの流れ | 日程 (目安) | 申請時 | | | | | | | | | 契約時 | | 運用開始時 | | | |
|---------------------|------------|------|-------|------|-------|------|-------|------|------|------------------------------|-----|-----|-------|------|---|--|
| | | 様式1※ | 様式2※ | 様式3※ | 様式4※ | 様式5※ | 様式6※ | 作業記録 | 販売実績 | みなし重量 テーブル設定表 (現地審査まで) | 手順書 | 契約書 | | 振込口座 | | |
| | | 提案書 | 工程分担表 | 部品回収 | 引取・計量 | 配置図 | 処理工程図 | | | | | 内部 | チーム | | | |
| 制度へのご相談、お問合せ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コンソーシアム参加者の合意形成 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 申請書類（提案書）提出 | N-4月 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| 書類審査 | N-4月 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現地審査 | N-3月 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 契約用書類の提出 | N-2月 | | | | | | | | | | ● | ● | | | | |
| 最終審査 | N-2月 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 両チーム業務委託契約締結、システム登録 | N-1月 | | | | | | | | | | | | | ● | ● | |
| 運用開始 | N月1日 | | | | | | | | | | | | | | | |

※ チームとの契約後は提出内容に変更があった際の維持管理が必要となります。

※ 必要に応じて上記以外の資料をご提出いただく場合があります。

2-3-1. 審査申込書

様式2

様式2_ver.1

■ 工程分担表

作成日 2025/6/1

例) 解体業者が管理会社となり1社でコンソーシアムを組み販売先原材料メーカーも1社のみケース

| No. | 社名 (事業所名) | 部品回収 | | | 引取・計量 | | | 原材料化 | | | 支払窓口 | |
|------|-----------|------|----|--------|-------|----|--------|------|----|--------|------|-----|
| | | バンパー | 内装 | サイドガラス | バンパー | 内装 | サイドガラス | バンパー | 内装 | サイドガラス | TH | ART |
| 1.管理 | ●●自動車(株) | | | | | | | | | | | ● |
| 2 | ●●自動車(株) | ● | ● | | | | | | | | ● | |
| 3 | △△回収(株) | | | | ● | ● | | | | | | |
| 4 | □□メーカー(株) | | | | | | | ● | ● | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | |

※支払窓口について
TH分は実作業を行う各解体業者等にも支払います。
ART分は任意の構成者に支払い可能です。

各社の担当業務に●印を記載ください。

■ 回収部品表

※他に回収想定部品があれば記載ください。

| No. | 社名 (事業所名) | バンパー | | 内装部品 | | | | | | | | |
|-----|------------|------|----|------|------------|--------|-------------|-----------|----------|--------|----|----|
| | | フロント | リア | ピラー | ドアスカッフプレート | カーゴトレイ | テールゲートライニング | カウルサイドトリム | シート下のトレイ | コラムカバー | 他※ | 他※ |
| 1 | ●●自動車 株式会社 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | | | | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | |

※回収想定(可能性がある)部品をすべて選択ください。
※複数社で構成される場合は各社ごとに記入ください。

該当部品に●印を記載ください。

2-3-1. 審査申込書

様式3

様式3_ver.1

複数の事業所で回収作業を行う場合は、各社ごとに作成ください。

| | |
|------------|----------|
| 作成日 | 2025/6/1 |
| ●●自動車_本社工場 | |

■ 部品回収工程_運用手順確認事項

自動車リサイクル法に基づくリサイクル料金を原資としたインセンティブを付与する趣旨から、下記要件を満たしている必要があります。

<要件>

- ・資源回収車台とそれ以外の車台が明確に区別ができる作業手順が設定されていること。
- ・作業結果を自動車リサイクルシステムに登録できるよう情報管理できていること。
- ・引渡前(計量前)の資源回収対象物に異物やその他部品等が混入しないよう保管されていること。

1) 現場への作業指示・作業結果の記録方法

※資源回収対象車台とそれ以外の車台の区別や、どの部品を取り外すかの判断方法や作業記録方法を、実際の手順を踏まえ具体的に記載ください。

例) 車台毎に指示書を作成し指示書記載の管理番号をマーキングのうえ現場へ引渡し。作業者は指示書に従い作業を行い作業後は実施記録を記入する。作業記録は1日の作業後にまとめて事務担当者へ引き渡す。

2) 回収資源の保管方法

※取外した回収資源と他の回収物が混在しない、異物が混入しないよう保管する運用方法を、実際の運用手順を踏まえ具体的に記載ください。

例) 作業員は対象部品は専用容器(バンパーは青色/ガラスは白色)に入れ一定量たまつたあとは出荷前保管スペースへ移動し保管。作業記録用紙には専用容器の番号が記載されており紐付けできている。

3) 作業記録のJARSへの登録手順

※1)の作業記録をどのような手順でJARS登録するか具体的な運用手順を記載ください。

例) 作業員は日々の作業終了後に作業記録を事務所事務員へ渡す。事務員は作業結果をもとに翌日にJARSへの登録を実施。また、作業記録に基づき回収品を保管した専用ケースと対象車台が紐付くよう回収物の管理表に記載。

4) 出荷部品と引渡車台情報との紐付方法

※回収資源を出荷する際に実際の荷姿と車台情報をどのように選択し引渡報告を行うか具体的な運用手順を記載ください。

例) 3)の作業結果により専用ケースごとに入っている車台情報がわかるため、その情報をもとに出荷時に紐付け作業を行う。

5) 実際に出荷する荷姿の作成手順

※引渡報告(荷姿ID等)と出荷荷姿自体とが一致しているかの付け合わせ(検収)のためにどのような運用手順を記載ください。

例) フレコンごとに荷姿ID/会社名/内容物/重量等をき記載したタグをつける

2-3-1. 審査申込書

様式4

様式4_ver.1

複数の事業所で回収作業を行う場合は、各社ごとに作成ください。

| | |
|-----|----------|
| 作成日 | 2025/6/1 |
| | △△回収㈱ |

■ 引取・計量工程_運用手順確認事項

引取・計量工程において登録された重量は国に報告され、回収実績や料金の算出に使用されるため下記の要件を満たす必要があります。

<要件>

- ・引渡された荷姿に自動車以外の素材や対象外の部品等が混入していないこと。
- ・計量値とシステムへの登録値に間違いがないことを証明ができること。
- ・計量に使用できる計量器は特定計量器かつ計量結果を残せる仕様のもとなります。

1) 引取・検取方法

※引取時に、荷姿情報・引渡されたもの自体や状態・品質をどのタイミングで誰が確認するか具体的な手順がわかるように記載ください。

例) 搬入時に事前連絡を受けた車両/荷主であるかの確認を行う。その後、荷下ろし前に上部カメラおよび荷受け作業者が目視で荷姿を確認。指定置き場に荷下ろししたあとは中身の検品を実施。

2) 計量手順・計量記録方法

※引渡された荷物ごとの計量手順と計量結果の記録方法と計量単位を記載ください。

- 例) ・計量手順：荷姿(フレコン等)ごとにA倉庫にある小型台貫Bにて計量を行う
 ・計量結果：システム内で集計/計量記録がプリントアウトされるのでファイルに保管する
 ・計量単位：1kg

3) 計量結果のJARSへの登録手順

※2)の計量結果をいつ・誰がJARSに登録するか具体的な手順を記載ください。

- 例) ・社内システムに自動登録された計量結果をもとに、都度担当者が登録を行う。
 ・計量器より出力された計量票をもとに翌日中に担当者が登録を行う。

様式5

様式5_ver.1

| | |
|-----|-------------|
| 作成日 | 2025/6/1 |
| | ●●自動車㈱ 本社工場 |

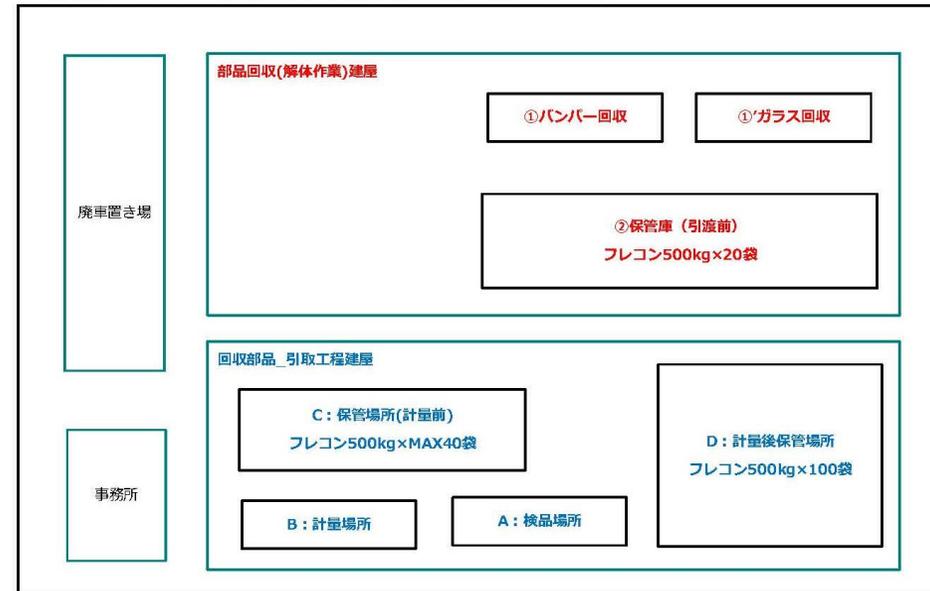
■ 添付書類_配置図

<部品回収工程(解体業・破砕業)事業所の場合>

- ・事業所配置図に「①部品回収場所」「②回収物の引渡前_保管場所」を記載してください。
- ・「保管場所」にはおおよその保管数量(フレコン個数や保管重量等)を記載してください。

<引取・計量工程_担当事業所の場合>

- ・事業所配置図に「A:検品場所」「B:計量前_保管場所」「C:計量場所」「D:計量後_保管場所」を記載してください。
- ・「保管場所」にはおおよその保管数量(フレコン個数や保管重量等)を記載してください。



2-3-1. 審査申込書

様式6

様式6_ver.1

| | |
|------------|----------|
| 作成日 | 2025/6/1 |
| ●●自動車 本社工場 | |

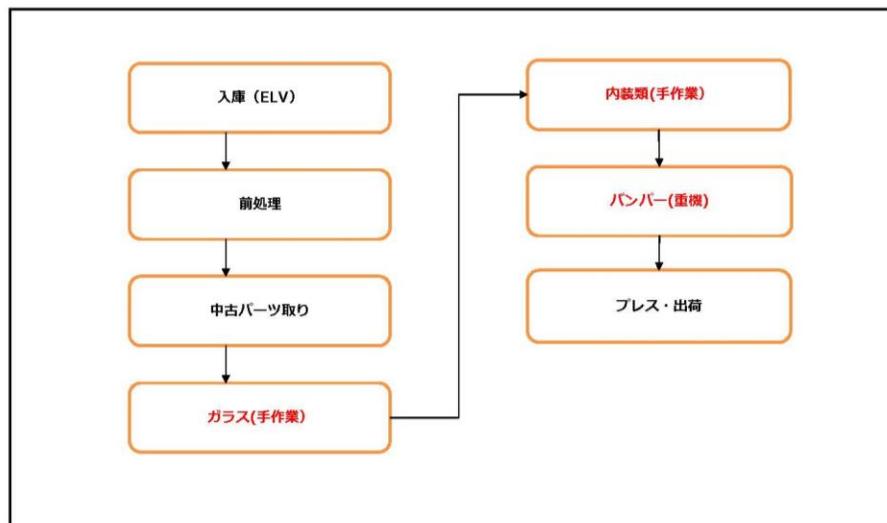
■ 添付書類_処理工程図

<部品回収工程(解体業・破砕業)事業所の場合>

・様式2で設定されている対象品目をどのタイミングで取外すかを表記してください。

<引取・計量工程_担当事業所の場合>

・様式2で設定されている対象品目の引取フローを「検品」「保管_計量前」「計量」「保管_計量後」を踏まえ記載ください。



販売実績

原材料_販売実績

作成日 2025/6/1

| | |
|---------|-----------|
| 原材料メーカー | □□メーカー(株) |
|---------|-----------|

| | | | |
|------------------|-----------|--|------|
| 製品名 例)PP/パレット | 会社名/事業所名 | | |
| | 販売数量(予定量) | | kg/年 |

| | | | |
|----------------|-----------|--|------|
| 製品名 例)パレットA | 会社名/事業所名 | | |
| | 販売数量(予定量) | | kg/年 |

| | | | |
|----------------|-----------|--|------|
| 製品名 例)パレットB | 会社名/事業所名 | | |
| | 販売数量(予定量) | | kg/年 |

2-3-1. 審査申込書

作業記録 (案)

| チーム | 車台番号 | 回収部品 | | |
|-----|------------------|----------|--------|------|
| | | フロントバンパー | リアバンパー | 内装部品 |
| — | 例) BBB-987654321 | ○ | ○ | ○ |
| ART | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| TH | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

※ART=いすゞ、スズキ、日産、マツダ、三菱、三菱ふそう、SUBARU、UDトラック
 ジャガー・ランドローバー・ジャパン、ボルボ・カー・ジャパン、メルセデス・ベンツ日本
 ※TH=ダイハツ、トヨタ、日野、ホンダ、BMW、フォルクスワーゲングループジャパン
 Stellantisジャパン

2-3-1. 審査申込書

みなし重量 テーブル

2025年6月9日

資源回収インセンティブ制度 みなし重量テーブル設定について

ASR チーム

資源回収インセンティブ制度においては、実際の回収資源の重量ではなく、解体業者ごとおよび部品ごとに設定された「みなし重量テーブル」に基づいて算出された重量を回収重量として取り扱います。そのため、事前に回収対象部品のサンプリング（回収および計量）を実施し、みなし重量テーブルを設定する必要があります。

つきましては、現地審査実施前までに、以下のデータをご提出くださいますようお願いいたします。

●サンプリング内容

- 大型乗用車、中小型車、軽自動車をそれぞれ15台ずつ（合計45台）対象に部品を回収
※車種分類は、THのカテゴリー表Ⅰ～Ⅲを参照してください
https://www.toyotsurecycle.co.jp/asr/assets/car_list.pdf
- 各車両ごとに回収した部品を計量
※前バンパー、後バンパー、内装樹脂全体、サイドガラス全体は、それぞれ個別に計量
※実際のコンソシアムで想定される取外し部品および異物除去の状態での計量を実施
- 車台番号およびASR基準重量（確認可能な場合）を記録
- 計量結果は、別途提供する「みなし重量テーブル設定表」に入力し、データ形式でご提出ください

●注意事項

- 測定可能な場合は、小数点第1位（0.1kg単位）まで測定してください
- 未認定の計量器の使用も可
- THおよびART両方の車両が混在していても問題ありません
※ARTの車種分類については、THのカテゴリー表を参考に判断ください

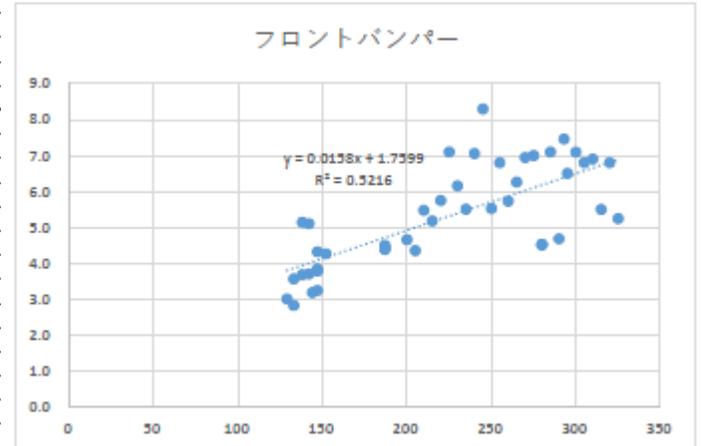
●その他

- TH車両については、本データを資源回収率の決定に使用します
- ART車両については、みなし重量テーブルにより算出された重量でインセンティブ料金を決定します

ご不明点があれば、各チーム窓口までお問い合わせください。

以上

| № | サイズ | 販売店名 (自動車メーカー名) | 車台番号 | ASR基準重量 (kg) | フロントバンパー重量 (kg) |
|----|------|--------------------|---------------|-----------------|--------------------|
| 1 | 大型 | △△自動車 株式会社 | △△-123481 | 325 | 5.2 |
| 2 | 大型 | △△自動車 株式会社 | △△-123480 | 320 | 6.8 |
| 3 | 大型 | △△自動車 株式会社 | △△-123479 | 315 | 5.5 |
| 4 | 大型 | △△自動車 株式会社 | △△-123478 | 310 | 6.9 |
| 5 | 大型 | △△自動車 株式会社 | △△-123477 | 305 | 6.8 |
| 6 | 大型 | △△自動車 株式会社 | △△-123476 | 300 | 7.1 |
| 7 | 大型 | △△自動車 株式会社 | △△-123475 | 295 | 6.5 |
| 8 | 大型 | □□工業 株式会社 | □□1-1003729 | 293 | 7.5 |
| 9 | 大型 | △△自動車 株式会社 | △△-123474 | 290 | 4.7 |
| 10 | 大型 | △△自動車 株式会社 | △△-123473 | 285 | 7.1 |
| 11 | 大型 | ■●自動車 株式会社 | □□W-121597 | 280 | 4.5 |
| 12 | 大型 | ■●自動車 株式会社 | □□W-121597 | 280 | 4.5 |
| 13 | 大型 | △△自動車 株式会社 | △△-123472 | 280 | 4.5 |
| 14 | 大型 | △△自動車 株式会社 | △△-123471 | 275 | 7.0 |
| 15 | 大型 | △△自動車 株式会社 | △△-123470 | 270 | 6.9 |
| 16 | 中小型 | △△自動車 株式会社 | △△-123469 | 265 | 6.3 |
| 17 | 中小型 | △△自動車 株式会社 | △△-123468 | 260 | 5.7 |
| 18 | 中小型 | △△自動車 株式会社 | △△-123467 | 255 | 6.8 |
| 19 | 中小型 | △△自動車 株式会社 | △△-123466 | 250 | 5.5 |
| 20 | 中小型 | △△自動車 株式会社 | △△-123465 | 245 | 8.3 |
| 21 | 中小型 | △△自動車 株式会社 | △△-123464 | 240 | 7.1 |
| 22 | 中小型 | △△自動車 株式会社 | △△-123463 | 235 | 5.5 |
| 23 | 中小型 | △△自動車 株式会社 | △△-123462 | 230 | 6.2 |
| 24 | 中小型 | △△自動車 株式会社 | △△-123461 | 225 | 7.1 |
| 25 | 中小型 | △△自動車 株式会社 | △△-123460 | 220 | 5.7 |
| 26 | 中小型 | △△自動車 株式会社 | △△-123459 | 215 | 5.2 |
| 27 | 中小型 | △△自動車 株式会社 | △△-123458 | 210 | 5.5 |
| 28 | 中小型 | △△自動車 株式会社 | △△-123457 | 205 | 4.3 |
| 29 | 中小型 | △△自動車 株式会社 | △△-123456 | 200 | 4.7 |
| 30 | 中小型 | ●●自動車 株式会社 | ●●●-5024363 | 187 | 4.5 |
| 31 | 新自動車 | ○● 株式会社 | ○●10-0022781 | 187 | 4.4 |
| 32 | 新自動車 | □□工業 株式会社 | □□S-0022781 | 187 | 4.4 |
| 33 | 新自動車 | ■●自動車 株式会社 | □□W30-0022680 | 152 | 4.3 |
| 34 | 新自動車 | ○● 株式会社 | ○●S-327442 | 147 | 3.8 |
| 35 | 新自動車 | ○● 株式会社 | ○●S-4715754 | 147 | 4.3 |
| 36 | 新自動車 | □□工業 株式会社 | □□S-0154545 | 147 | 3.2 |
| 37 | 新自動車 | □□工業 株式会社 | □□S-0097189 | 147 | 3.8 |
| 38 | 新自動車 | □□工業 株式会社 | □□S-0019054 | 144 | 3.2 |
| 39 | 新自動車 | ●●自動車 株式会社 | ●●●-4379015 | 142 | 3.7 |
| 40 | 新自動車 | ○● 株式会社 | ○●S-1049228 | 142 | 5.1 |
| 41 | 新自動車 | ○● 株式会社 | ○●S-0037568 | 138 | 5.1 |
| 42 | 新自動車 | □□工業 株式会社 | □□S-0259363 | 138 | 3.7 |
| 43 | 新自動車 | ●●自動車 株式会社 | ●●●-0085685 | 133 | 2.8 |
| 44 | 新自動車 | ○● 株式会社 | ○●W-1317265 | 133 | 3.6 |
| 45 | 新自動車 | ●●自動車 株式会社 | ●●●-688044 | 129 | 3.0 |



3-1. 作業・管理内容

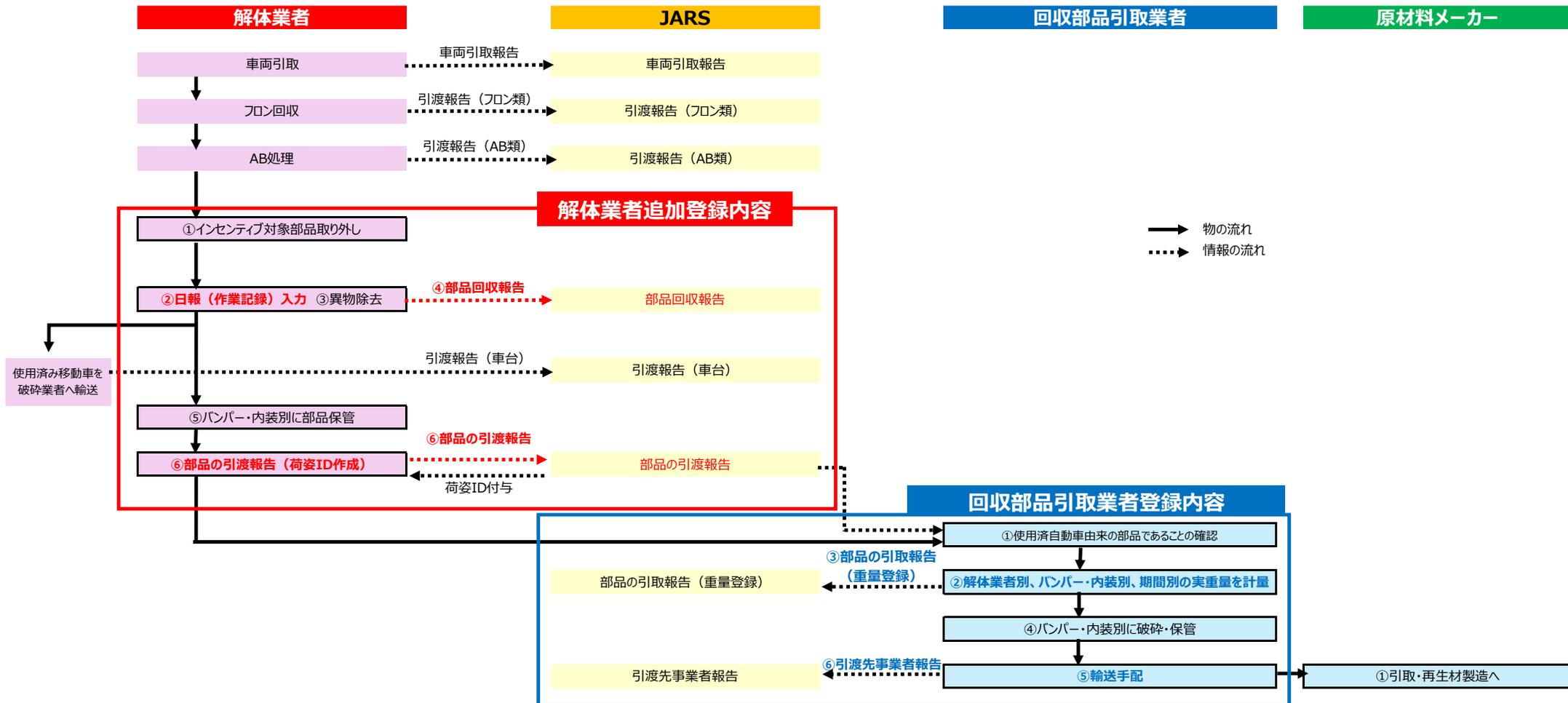
- 資源回収インセンティブ料金を受け取るために必要な解体業者、回収部品引取業者、原材料メーカーの作業・管理詳細を以下に示す。

表. 解体業者、回収部品引取業者、原材料メーカーの作業・管理詳細

| 事業者 | 番号 | 主な作業内容 | 詳細 |
|----------|----|---------------------|--|
| 解体業者 | ① | 対象部品の回収 | 回収部品引取業者及び原材料メーカーの要求に応じて決定した部品を回収する。 |
| | ② | 現場日報記入 | 車台番号ごとに、フロントバンパー、リアバンパー、内装のいずれかを回収したか、何も回収しなかったか、JARS登録前に現場日報記入。 |
| | ③ | 異物除去 | 回収部品引取業者及び原材料メーカーの要求水準に応じて異物除去を実施する。 |
| | ④ | JARSへの部品回収報告 | 車台番号ごとに、フロントバンパー、リアバンパー、内装のいずれかを回収したか、又は何も回収しなかったかJARSに登録を行う。 |
| | ⑤ | 内装・外装別に部品保管 | 回収した部品を輸送までの一定期間保管する。なおインセンティブ対象部品以外が混ざらないように内装・外装別に分けて保管する。 |
| | ⑥ | JARSへの部品の引渡報告 | 内装・外装別に車台番号から輸送登録を行う。 |
| | ⑦ | 輸送 | 回収部品引取業者へインセンティブ対象部品を輸送する。なおインセンティブ対象部品以外が混ざらないように内装・外装別に分けて輸送。 |
| 回収部品引取業者 | ① | 品質確認 | 使用済自動車由来の回収品であること、また事前に決定した回収部品・異物除去度合いであるか品質確認を行う。 |
| | ② | 重量計測 | 荷姿ID毎に重量計測を行う。 |
| | ③ | JARSへの部品の引取報告（重量登録） | 計測した実重量をJARSに登録する。 |
| | ④ | 回収品の粉碎・選別・洗浄等 | 原材料メーカーの要求水準に応じて、粉碎・選別・洗浄等を実施する。 |
| | ⑤ | 原材料メーカーへの粉碎品輸送 | 原材料メーカーに粉碎品を輸送する。 |
| | ⑥ | JARSへの引渡先事業者報告 | JARSへ引渡し先事業者情報（原材料メーカー情報）を登録する。 |
| 原材料メーカー | ① | 粉碎品から再生材を製造 | 粉碎品から再生材を製造する。 |
| | ② | 再生材の用途登録 | 原材料メーカーは、引き取った資源から製造した原材料に関する情報を管理会社の求めに応じて報告する。 |

3-1. 作業・管理内容

- 資源回収インセンティブ料金を受け取るためには、資源回収インセンティブ制度で定められたルールにおいて、再資源化実績情報をJARSに提供する必要があります。本制度に登録された解体業者のJARS画面には、エアバッグ類引渡画面の後に、プラスチック回収報告画面（解体業者追加登録内容）が表示されます。



3-2. 解体業者

部品の決定・回収



刻印確認

| | 表示記号 | 基本構成 |
|--|------------------------------|--------------------------------------|
| ①単一素材の表記例 (JIS K 6899-1 (ISO 1043-1)) | > PP < | ポリプロピレン |
| ②ポリマーブレンド又はアロイ | > PP+E/P < | PPとE/P (エチレンプロピレンゴム)の混合樹脂：高強度ポリプロピレン |
| | > PP+EPM < | |
| | > PP+E/P-T〇 < | 高衝撃粉末タルク添加高強度タルク ※〇〇には数字が入る |
| | > PP+E/P-TD〇 < | |
| | > PP+EPM-T〇 < | |
| | > PP+EPM-TD〇 < | |
| | > PP/PE < | PPにPEをブレンド |
| > PP+PE < | | |
| > PP-S〇〇-T〇〇 < | 合成有機物含有タルク入りPP ※〇〇には数字が入る | |
| ③特殊な性質を示す記号 | > PP-HI < | 耐衝撃性ポリプロピレン (PP-H (高) I (衝撃性)) |
| ④充填又は強化材 (JIS K 6899-2 (ISO 1043-2)) | > PP-F < | フィラー添加PP |
| | > PP-TD〇〇 < | 粉末タルク添加PP ※〇〇には数字が入る |
| | > PP-T〇〇 < | |

3-2. 解体業者

異物除去

異物除去難易度

高
↑
↓
低

【想定1】
PP以外の異物
(外装部品の
パテも含む)は
全部除去
ノリ等削って
落とすもしくは、
その部分は切
断する



除去する異物



フォグランプ等



不織布

表面を剥がす作業をお願いします (剥がした後の不織布がPPに残っていても大丈夫です)

回収拠点で産業廃棄物となる。
特に重量が重いフォグランプなどは、PP素材の重量によっては
逆有償となるため廃掃法上問題が発生する。

除去しなくてよい異物



エンブレム



樹脂・鉄クリップ
シール
スポンジ



【想定3】
異物除去不要

ELVから対象部品を外した状態で、追加作業不要

日報記入

| チーム | 車台番号 | 回収部品 | | |
|-----|------------------|----------|--------|------|
| | | フロントバンパー | リアバンパー | 内装部品 |
| - | 例) BBB-987654321 | ○ | ○ | ○ |
| ART | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| TH | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

※ART=いすゞ、スズキ、日産、マツダ、三菱、三菱ふそう、SUBARU、UDトラック
ジャガー・ランドローバー・ジャパン、ボルボ・カー・ジャパン、メルセデス・ベンツ日本
※TH=ダイハツ、トヨタ、日野、ホンダ、BMW、フォルクスワーゲングループジャパン
Stellantisジャパン

3-2. 解体業者

JARSへの部品回収登録

② 部品回収報告

※登録内容イメージであり、実際の登録画面とは異なる。

1. チームを選択

THチーム or ARTチーム

2. 引取報告日を選択し、回収部品の登録を行う車台を選択、絞り込み

2024年 6月 1日 ~ 2024年 6月 30日

3. 対象車台の一覧から回収した部品にチェックを入力

| | 引取報告日 | 車台番号 | 回収部品 | | | 部品回収しない | みなし重量合計 | | | |
|-------------------------------------|-----------|----------|-------------------------------------|-------------------|-------------------------------------|---------|-------------------------------------|-----|--------------------------|--------|
| | | | フロントバンパー (みなし重量) | リアバンパー (みなし重量) | 内装 (みなし重量) | | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2024/5/20 | AA-68... | <input checked="" type="checkbox"/> | 4kg | <input checked="" type="checkbox"/> | 2kg | <input checked="" type="checkbox"/> | 8kg | <input type="checkbox"/> | 14.0kg |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2024/5/20 | AB-68... | <input checked="" type="checkbox"/> | 3kg | <input type="checkbox"/> | 3kg | <input checked="" type="checkbox"/> | 7kg | <input type="checkbox"/> | 10.0kg |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2024/5/20 | AC-68... | <input checked="" type="checkbox"/> | 5kg | <input checked="" type="checkbox"/> | 4kg | <input checked="" type="checkbox"/> | 8kg | <input type="checkbox"/> | 17.0kg |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2024/5/20 | AD-68... | <input checked="" type="checkbox"/> | 5kg | <input checked="" type="checkbox"/> | 3kg | <input type="checkbox"/> | 5kg | <input type="checkbox"/> | 8.0kg |

※チーム別で対象車台についての回収部品のチェックを行う必要がある。

※インセンティブに参加している解体事業者は、全ての引取車両について「部品を取り外したかどうか」を車両移動報告前に登録する必要がある。

部品保管

バンパー



ラック・カゴ



PPバンド



平置き



フレコン

内装



フレコン



カゴ

3-2. 解体業者

JARSへの部品引渡し報告

④部品の引渡し報告をJARSに登録 ※登録内容イメージであり、実際の登録画面とは異なる。

4. 引渡先の事業者情報入力

・ 事業所コード

| | |
|----------|-------|
| 事業者/事業所名 | ※自動入力 |
| 所在地 | ※自動入力 |
| 電話番号 | ※自動入力 |

5. 運搬事業者情報の入力

・ 自社運搬、または引取先運搬 運搬委託

収集運搬許可番号
事業者氏名

6. 荷姿を選択・登録

・ 新規荷姿追加ボタンを押す

新規荷姿追加

・ 素材 PP (バンパー) / PP (内装) ※選択式

・ 素材回収期間 2024/6/1~2024/6/30 ※自動入力

・ 引渡先の事業者

| | |
|----------|-------|
| 事業者/事業所名 | ※選択式 |
| 事務所コード | ※自動入力 |
| 所在地 | ※自動入力 |
| 電話番号 | ※自動入力 |

・ 関連情報

トラック登録番号

7. 対象車台情報の選択

・ 引取報告日 2024年 6月 1日~2024年 6月 30日

・ 対象車台の一覧から回収した素材にチェックを入力

| チェック | 引取報告日 | 車台番号 |
|-------------------------------------|----------|----------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2024/6/1 | AA-68・・・ |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2024/6/1 | AB-68・・・ |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2024/6/1 | AC-68・・・ |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2024/6/1 | AD-68・・・ |

8. 荷姿IDの割り当て

| | 荷姿変更/削除 | 荷姿更新日 | 引渡先事業者/ 事業所名 | 荷姿ID | トラック 登録番号 | 部品 | 紐付車 台数 | みなし重 量合計 |
|--------------------------|---------|----------|-----------------|------------|--------------|------|-----------|-------------|
| <input type="checkbox"/> | 変更 削除 | 2024/7/1 | Z社 | A-202406-1 | TEST11 | バンパー | 4 | 26kg |
| <input type="checkbox"/> | 変更 削除 | | Z社 | A-202406-2 | TEST11 | 内装材 | 4 | 23kg |

輸送

専用便

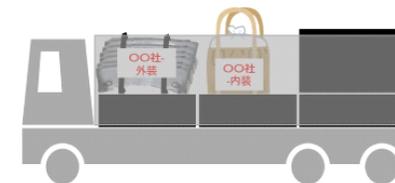


車両引き取り
ついで便

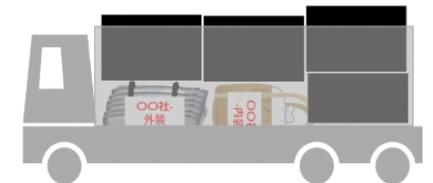


車両引き取りのついで便

廃車ガラクタ輸送
ついで便



廃車ガラクタ輸送のついで便
廃車ガラクタの隙間に、
落下ないように輸送物を置く



廃車ガラクタ輸送のついで便
廃車ガラクタの下に輸送物を敷く

3-3. 回収部品引取業者

品質確認



重量計測・JARSへの部品の引取報告

| 回収部品引取日 | 引渡元事業者/事業所 | 荷姿ID | 部品 | 実回収重量 (kg) |
|--------------|------------|------------|------|------------|
| (例) 2024/9/1 | ●●●自動車解体 | A-202406-1 | バンパー | 30 |
| (例) 2024/9/1 | ●●●自動車解体 | A-202406-2 | 内装部品 | 20 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |



⑧ 部品の引取報告 (重量登録) ※登録内容イメージであり、実際の登録画面とは異なる。

1. 荷姿IDを選択し、計測重量を入力

| | 引渡報告日 | 引渡元事業者/事業所 | 荷姿ID | 部品 | みなし重量合計 (kg) | 実回収重量 |
|--------------------------|----------|------------|------------|------|--------------|-------|
| <input type="checkbox"/> | 2024/7/1 | Q社 | A-202406-1 | バンパー | 26kg | |
| <input type="checkbox"/> | 2024/7/1 | Q社 | A-202406-2 | 内装 | 23kg | |

2. 引渡先事業者または事業所名を選択 (又は再生材事業者は用途を報告) ※任意

・ 引渡先の事業者/事業所

A再生材メーカー

| | 引渡報告日 | 引渡元事業者/事業所 | 荷姿ID | 部品 | みなし重量合計 (kg) | 実回収重量 |
|--------------------------|----------|------------|------------|------|--------------|-------|
| <input type="checkbox"/> | 2024/7/1 | Q社 | A-202406-1 | バンパー | 26kg | 30kg |
| <input type="checkbox"/> | 2024/7/1 | Q社 | A-202406-2 | 内装 | 23kg | 20kg |

4.コンソーシアム形成のための回収・再生・管理会社候補

- 破砕業者（回収部品引取業者候補）、原材料メーカーに資源回収インセンティブ参加についてアンケート実施中

作成中

5-1.設備導入補助金

公募元

廃棄物・3R研究財団

名称

自働車における再生材供給拡大に向けた産学官連携推進事業

概要

プラスチック回収量拡大・輸送効率向上のための破砕設備導入事業

公募開始時期

申請受付

応募締め切り

公募サイト

二次募集見込み

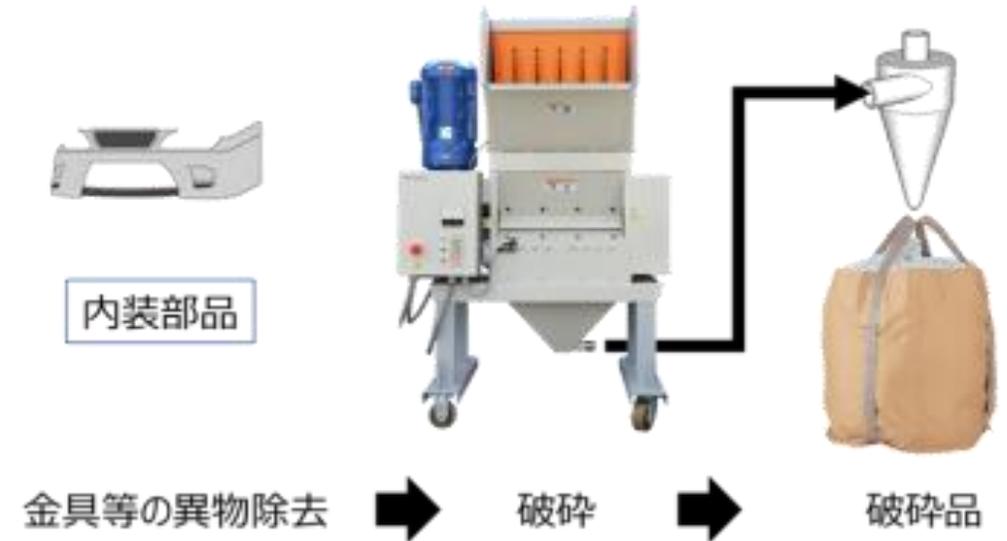
<https://www.jwrf.or.jp/news/>

5-2. 破砕機導入の試算事例

人件費・電気代・設備等を含む部品破砕の重量あたり費用（円/kg）

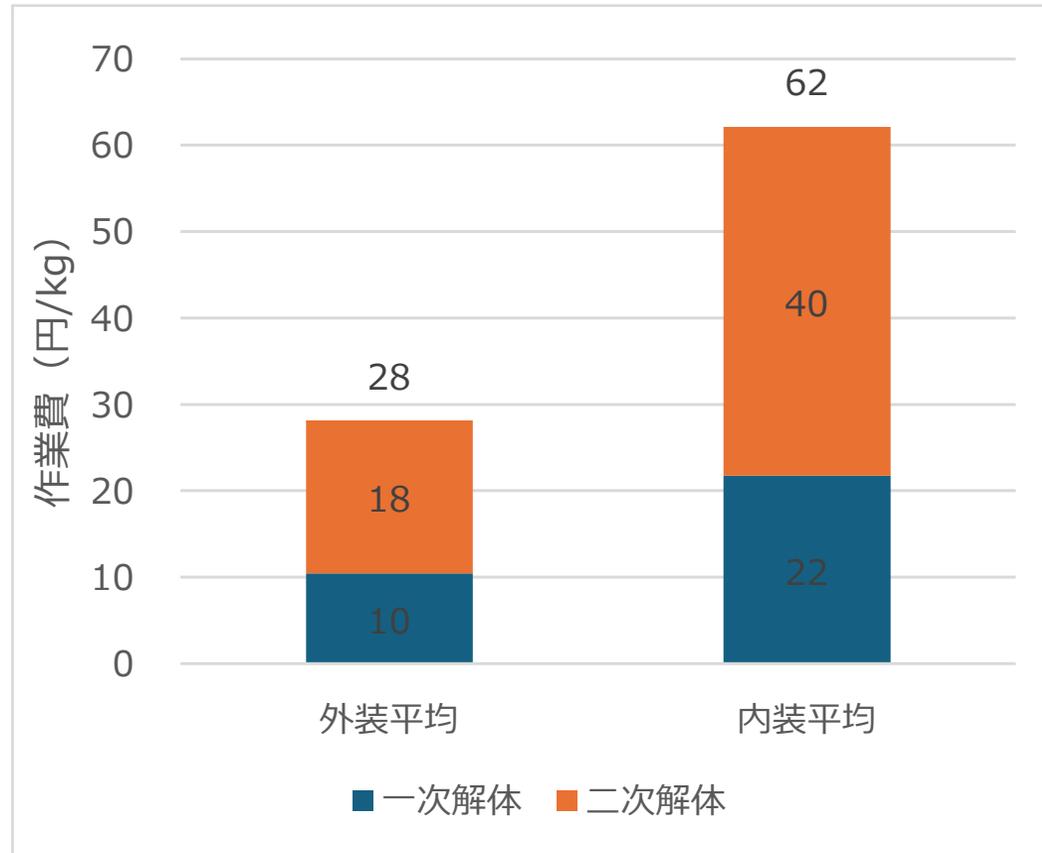
| 補助金 | 処理台数 (台/月) | 高速 | | 低速 |
|-----|---------------|-----------|-----------|-----------|
| | | 200(kg/h) | 150(kg/h) | 100(kg/h) |
| | | 篩下# 20mm | 篩下# 15mm | 篩下# 12mm |
| なし | 200 | 92 | 97 | 85 |
| | 400 | 53 | 58 | 57 |
| | 600 | 41 | 45 | 48 |
| | 800 | 34 | 38 | 43 |
| | 1000 | 30 | 35 | 40 |
| 50% | 200 | 53 | 58 | 57 |
| | 400 | 34 | 39 | 43 |
| | 600 | 28 | 32 | 38 |
| | 800 | 24 | 29 | 36 |
| | 1000 | 22 | 27 | 35 |

| | | | | |
|------|--------|---|----------|--------|
| 試算条件 | 設備費 | 破砕工程のみについて試算、投入準備（異物除去等）含まず （前後）バンパー+内装：15kg/台 設備費：破砕機+付帯設備 電源1次含まず ※高速型は破砕時の防音対策が必要になる場合があります | | |
| | | 1,400万円 | 1,000万円 | |
| | 設備償却 | 5年均等 | | |
| | 人件費 | 2,500円/h × 1人 | | |
| | | 12.5円/kg | 16.7円/kg | 25円/kg |
| | 設備定格 | 25kw | | 15kw |
| | 電力価格 | 70% | | |
| | 40円/kw | | | |



5-3.部品回収コストの試算事例（2018年J-FAR実証事業）

参考



| 部位 | 【1】解体時間平均値 (秒) ※過去実年実績値 | | | 【2】解体業者の作業費0.5円/秒の場合の解体費用 (円/個) 【1】×0.5 | | | 【3】重量当たりの平均作業費 (円/kg) 【2】÷平均重量 | | | |
|------|----------------------------|------|-----|--|------|-----|-----------------------------------|------|------|----|
| | 一次解体 | 二次解体 | 合計 | 一次解体 | 二次解体 | 合計 | 平均重量 (kg) | 一次解体 | 二次解体 | 合計 |
| 外装平均 | 84 | 141 | 225 | 42 | 71 | 113 | 4 | 10 | 18 | 28 |
| 内装平均 | 25 | 53 | 78 | 13 | 26 | 39 | 0.6 | 22 | 40 | 62 |

※外装はフロントバンパー 1 本、リアバンパー 1 本の回収時間平均値から計算

※内装はピラー 1 個、カウルサイドトリム 1 個、ドアスカフプレート 1 個

、テールゲートライニング 1 個の回収時間平均値から計算

※J-FAR助成事業

「自動車由来樹脂リサイクル可能性実証（2018年）」において計測した解体時間

5-4.資源回収インセンティブ制度のためのJAERAのサポート

本資料に関する資源回収インセンティブ制度関連のお問い合わせは以下窓口にお願いします。

一般社団法人日本自動車リサイクル機構（JAERA）

〒105-0003 東京都港区西新橋1-11-3 虎ノ門アサヒビル3階

TEL:03-3519-5181

FAX:03-3597-5171
